

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	指導	題名	南部かしわ雌の長期（5ヶ月）肥育の経済性		
〔要約〕 高品質肉用鶏「南部かしわ」の雌を5ヶ月まで長期肥育することによって、部分肉の量と品質が向上されることの指標を得た。					
キ-ワ-ド	南部かしわ	用途別仕上げ	長期肥育	畜産研究所 家畜育種研究室	

1. 背景とねらい

南部かしわの生産については、これまで雌で16週齢出荷を指標としてきたが、鍋物あるいはそば・ひつまみなどの伝統食に利用される場合には、肉色などの外観とともに付着脂肪の質が食欲をそそる要因として重要となってくる。

そこで、鶏が成熟する産卵開始直前までの5ヶ月齢肥育を行い、産肉性・肉質並びに経済性について調査し、用途別肥育技術を検討したので参考に資する。

2. 技術の内容

- (1) 育雛バタリ - 育成した4週齢の「南部かしわ」雌を、ウィンドウレス平飼い鶏舎に坪当たり11羽を収容し、5ヶ月齢まで市販のプロイラ - 仕上げ飼料を給与することによっても、良好な発育成績と出荷率が得られる。約40日間の肥育延長により肥育終了時の体重が大きくなるが、枝肉歩留りには差は認められない。（表1）
- (2) 枝肉重量の増加に伴って、各部位の精肉重量も増加するほか皮と脂肪の割合が増加し、脂の乗ったボリュームのある部分肉が生産される。（表2）
- (3) 長期肥育により、特にモモ肉において肉色が濃く、赤身が強い鶏肉が生産可能となる。また、腹空内脂肪も明度が高く黄色度が低くなり、全体として見栄えが良く品質が高い部分肉が生産される。（表3）
- (4) 肥育期間の延長により増加する飼料量は1羽当たり5.5kg程度であり、飼料費は384円増加するが、精肉1kgを生産するための飼料費としては114円の割り増し経費ですむ。（表4）
- (5) 以上のことから、5ヶ月齢までの長期肥育のためには若干の経費を要するが、肉色・脂肪色のバランスが良く、ボリューム感のある品質の高い鶏肉生産のためには有効であると考えられる。

3. 指導上の留意事項

- (1) 長期肥育によって部分肉に脂肪が蓄積されるので、用途的には鍋物や日本料理に向いている。
- (2) 肥育を延長する40日間の飼料については、今回は市販飼料を使用した。地域の未利用資源を活用しながら肉質とともに脂肪の質を改善するための原料と配合割合については、今後検討したい。

4. 技術の適応地帯

県下全域

5. 当該事項に係る試験研究課題

〔養鶏1〕 - 1 - (2)ウ 「優良鶏性能調査事業」

6. 参考文献・資料

昭和60年	普及奨励	「南部かしわ」の作出とその特性
昭和61年	参考事項	高品質特殊鶏「南部かしわ」の飼養管理マニュアル - 放飼いを利用した飼養形態 -
平成7年	普及奨励	農業用施設の効率利用による南部かしわの生産促進
平成9年	参考事項	仕上げ飼料（抗生剤無添加）による南部かしわの肥育

7. 試験成績の概要

表1 発育並びに枝肉成績

項目	肥育開始		肥育終了		育成率 (%)	開始～終了 D.G. (g)	枝肉 重量 (g)	枝肉 歩留り (%)	腹空内 脂肪 (g)
	羽数	体重 (g)	羽数	体重 (g)					
長期肥育	44	440 ± 37	44	3184 ± 303	100	21.0 ± 2.0	2926 ± 271	94.2 ± 271	180 ± 52
慣行肥育	44	436 ± 36	44	2301 ± 192	100	20.4 ± 1.7	2137 ± 193	94.9 ± 2.8	54 ± 34
有意性		N.S.		**		N.S.	**	N.S.	**

注) 肥育開始; 4週齢、肥育終了; 長期肥育は5ヶ月齢、慣行肥育は16週(112日)齢
枝肉歩留りは枝肉重量の屠殺前体重に対する割合

表2 部分肉の重量及び割合

項目	ムネ肉 重量 (g)	筋肉の割合 (%)		脂肪・皮の 割合 (%)	モモ肉 重量 (g)	筋肉の割合 (%)		脂肪・皮の 割合 (%)	ささ身 重量 (g)	合計 (g)	精肉 歩留り (%)
		筋肉の割合 (%)	脂肪・皮の 割合 (%)			筋肉の割合 (%)	脂肪・皮の 割合 (%)				
長期肥育	441 ± 38	83.0 ± 3.8	17.0 ± 3.8	654 ± 58	77.4 ± 4.4	22.6 ± 4.4	111 ± 10	1207 ± 96	40.9 ± 4.3		
慣行肥育	292 ± 50	89.9 ± 2.7	10.1 ± 2.7	457 ± 97	84.6 ± 3.5	15.4 ± 3.5	87 ± 12	836 ± 108	39.7 ± 3.8		
有意性	**	**	**	**	**	**	**	**	N.S.		

表3 肉色並びに脂肪色及び水分含量

項目	ムネ肉			モモ肉			腹空内脂肪		
	明度	赤色度	黄色度	明度	赤色度	黄色度	明度	赤色度	黄色度
長期肥育	56 ± 2 a	2.4 ± 1.0	6.9 ± 2.2	41 ± 2 a	17 ± 2 a	4.8 ± 1.4 a	78 ± 2	-1.1 ± 2	20.5 ± 4.8
慣行肥育	58 ± 3 b	2.2 ± 1.1	7.6 ± 2.6	44 ± 2 b	16 ± 1 b	6.4 ± 1.2 b	73 ± 2	1.5 ± 3	25.9 ± 5.8
プロイラ	57 ± 2	1.8 ± 1.0	7.8 ± 1.4	47 ± 2 c	15 ± 2 b	8.5 ± 1.2 c			
有意差	*	N.S.	N.S.	**	**	**	**	**	**

注) 肉色測定部位; ムネ肉は浅胸筋肉面、モモ肉は半腱 様筋肉面
異なる文字間に有意差が認められた (P < 0.05)

水分含量 (%)	
ムネ肉	モモ肉
72.3 ± 1.0	75.6 ± 0.7
73.8 ± 1.2	77.0 ± 0.5
**	**

表4 1羽当たり飼料摂取量と飼料費

項目	飼料摂取量(kg)			飼料費 (円)	精肉1kg生産 に要する飼料費 (円)
	4~16週齢	~5ヶ月齢	合計		
長期肥育	8.03	5.42	13.45	938.8	777.8
慣行肥育	7.95		7.95	554.9	663.8
差	0.08	5.42	5.50	383.9	114.0

凍結保存した肉をチルド状に
解凍して分析した

注) 飼料単価は69.8円/kgとして試算した